

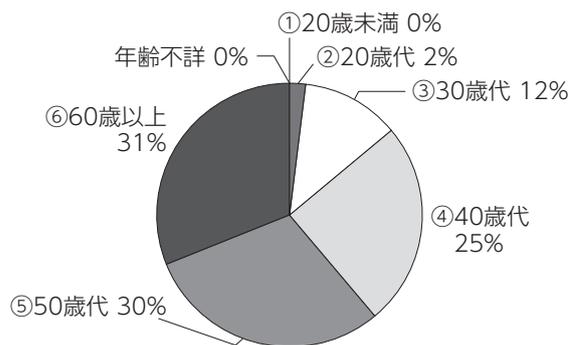
東京会場

アンケート集計結果



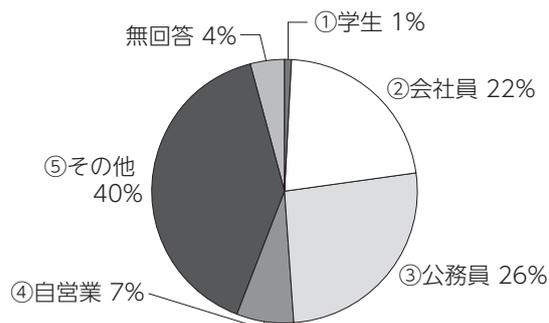
1 年齢構成

① 20歳未満	0人
② 20歳代	2人
③ 30歳代	10人
④ 40歳代	22人
⑤ 50歳代	26人
⑥ 60歳以上	27人
年齢不詳	0人



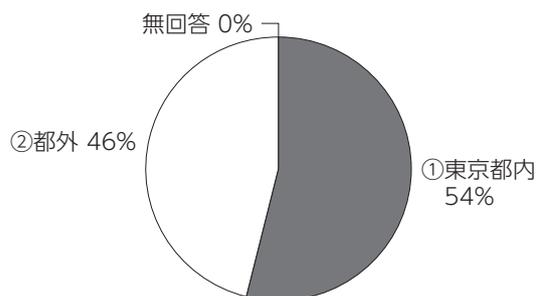
2 職業構成

① 学生	1人
② 会社員	19人
③ 公務員	23人
④ 自営業	6人
⑤ その他	35人
無回答	3人



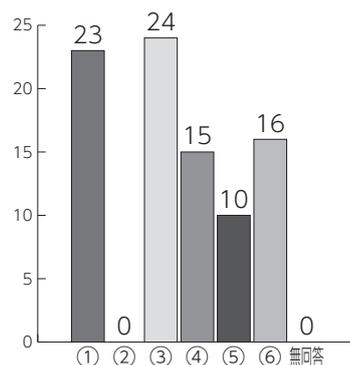
3 住まい

① 東京都内	47人
② 都外	40人
無回答	0人



4 本シンポジウムを知ったきっかけ (複数回答)

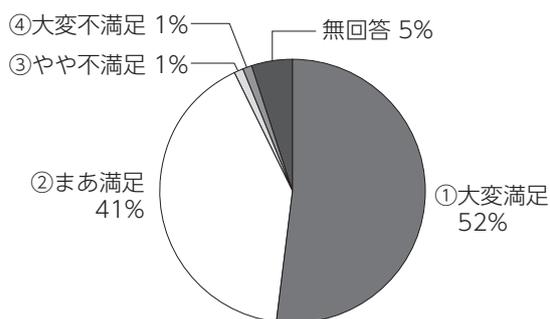
① 新聞	23人
② テレビ	0人
③ チラシ	24人
④ インターネット	15人
⑤ 知人・家族	10人
⑥ その他	16人
無回答	0人



5 本シンポジウムについて

(1) 全体満足度

① 大変満足	45人
② まあ満足	36人
③ やや不満足	1人
④ 大変不満足	1人
無回答	4人



(2) 自由記入欄より

各々の視点からの報告、問題提起があり、参考になった。被害者、加害者にならないような予防対策を考えていきたい。

いずれも密度の濃い内容で多くの気付きがありました。古新さんのお話もわかり易く、挫折あってこそその実感のこもった内容、そしてネットのメリットを語って下さったことにも感謝しています。

パネリストの基調報告において最新の状況・情報を得られた事はよかった。特にLINE（ライン）について子ども達の実態をお教えていただいた安川先生の報告に迫力があつた。

- ・パネリストによる報告
- ・ネットによる人権問題は急速に大きな社会問題となっており、今回のテーマは、タイムリーでよかった。以前から少しの知識と関心をもっていたが、本日のシンポジウムでより理解が深まった。今後においてもタイムリーなテーマによるシンポジウムをお願いします。

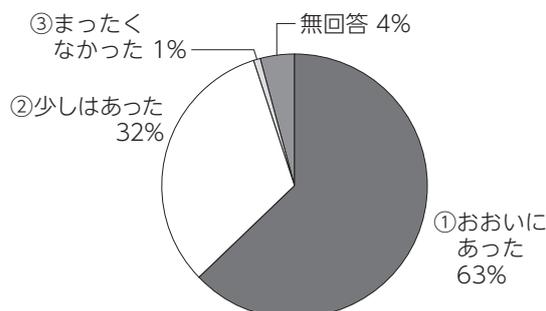
全体的に具体的で事例の多い話だったので、理解し易かった。インターネットの進歩になかなか追いついていけずにいるので、このような講演会に参加すると大変有意義である。

- ・吉川誠司氏・渡辺真由子氏の基調報告とレジュメが充実していた。
- ・安川氏の親の役割、果たすべき事柄の指摘は親子の本質についての貴重なアドバイスである。
- ・古新氏の「インターネットからの授かり物10」は、体験に基づき説得力があつた。

※主な回答を抜粋

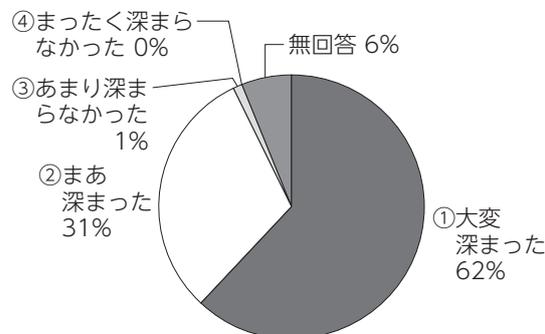
6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があつたか

① おおいにあつた	55 人
② 少しはあつた	28 人
③ まったくなかつた	1 人
無回答	3 人



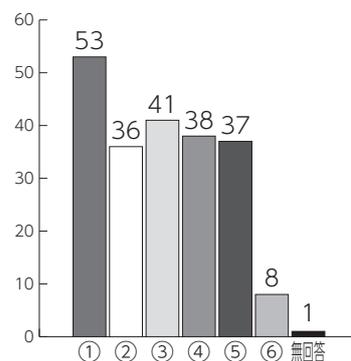
7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まつたか

① 大変深まつた	54 人
② まあ深まつた	27 人
③ あまり深まらなかつた	1 人
④ まったく深まらなかつた	0 人
無回答	5 人



8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

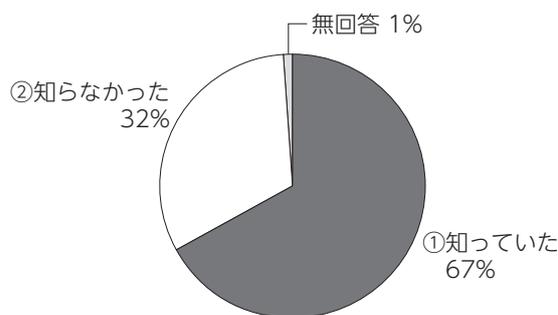
① ネット上で起こる人権侵害の被害者・加害者にならないよう気をつけたい	53人
② 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	36人
③ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会をもちたい	41人
④ 今回のイベントの内容を、友だちや家族に説明し、話したい	38人
⑤ ほかに人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	37人
⑥ その他	8人
無回答	1人
⑥ その他の内容	



30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の人権イベントにつなげる。 ・個人を特定するような情報は控えたいと思いました。
40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に活かす一環の施策に反映。 ・子どもの学校の先生にも伝えたい。大学で心理学を学んでいるので、インターネット依存や集団心理、犯罪心理などについて研究を深めたいと思う。 ・私は全国で70超の団体が実施している子ども専用電話チャイルドラインに携わっているのですが、もちろんネットに関わる子どもたちの悩みは多いです。電話の受け手の研修等、ご支援頂けるとありがたいです。10/26・27早稲田大でチャイルドライン全国フォーラム、11/16・17に同大で子どもの権利条約フォーラム等あるので、資料提供等頂ければ幸いです。
60歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員として頑張ります。 ・研修実施の参考にします。 ・ネットのマイナス面はしよせん防ぐことはできないものようだ。ネットの基本政策の再考が必要。

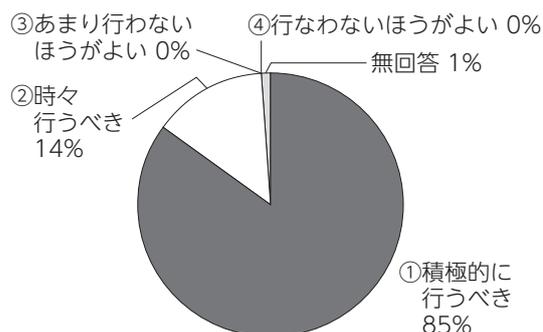
9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	58人
② 知らなかった	28人
無回答	1人



10 今後、このようなシンポジウムを行なうべきだと思うか

① 積極的に行うべき	74人
② 時々行うべき	12人
③ あまり行わないほうがよい	0人
④ 行なわないほうがよい	0人
無回答	1人



11 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催してほしいテーマなど(自由記入)

今回のシンポジウムはとてもためになった。特にパネルディスカッション最後のパネリスト及びコーディネーターによるまとめは、端的で分かりやすくインターネットと人権の問題について説明されていた。ネットと人権の関係について、ネガティブだけでなくポジティブな面の視点は新たな気づきだった。今後開催してほしいテーマについて。各人権課題、女性、高齢者etc…の啓発活動は盛んに行われているが、そもそも話として、人権とは何か？人権侵害とは何か？が人権の仕事をしていても、その基本が難しく分からないと感じることがあるので、その2つについて普遍的かつ統一的な定義はないが、何か示唆のあるシンポジウムがあるとよいです。

インターネットによる人権侵害は、今後も大きな問題となるので、引き続き「インターネットと人権」をテーマにシンポジウムを開催してもらいたい。

インターネットの問題はまだまだインターネットと人とのつきあいが短いので、まだまだ予測できない問題が潜んでいるようにも思います。又、法律なども後追いであるので、今後も意識的に光と陰の両方に目を向けていきたいと思います。

インターネットと人権については、今回のメインテーマである「子ども」以外にも様々な問題があると思うので、そういったものを取り上げてほしい。例えば同和問題もあるし、横田先生が少しふれられた高齢者の問題もあると思う。

事件、事故等の被害者について氏名を公表しない(メディアで)とかがもっと一般的になると良い。子どもや学生に対する教育・啓発について研究が進んでほしい。インターネットではデータが残る！拡散するということを利用する前に知っているといい。がしかし、そうではない状態を改善する方向を目指してほしい。利用する人々のルール作りは本当に大切！そのベースを作してほしい。

※主な回答を抜粋

広報内容

広報実績

No.	事 項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> ・4紙に半5段広告を掲載。 読売新聞都内版、朝日新聞都内版、産経新聞都内23区版及び東京新聞都内23区版：平成25年10月6日（日） ・1紙に15段1/3広告を掲載。 読売新聞西部本社版：平成25年10月12日（土） 北陸支社版：平成25年10月12日（土） 東京本社版：平成25年10月13日（日） 北海道支社版：平成25年10月13日（日） 中部支社版：平成25年10月13日（日） 大阪本社版：平成25年10月14日（月） ・1紙に小枠広告を掲載。 読売新聞東京本社版：平成25年10月7日（月） 平成25年10月17日（木）
2	WEB広報	<ul style="list-style-type: none"> ・人権シンポジウム in 石巻採録及び人権相談窓口広報WEBページ中に掲載。平成25年10月12日（土）～20日（日）
3	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。 東京法務局（500部） 全国の法務局・地方法務局（490部）※東京法務局を除く 東京都（250部） 東京都内市区（580部） 東京都内図書館（1,020部） 後援団体（300部） 東京都内大学（720部） 東京都内私立中学校（368部） その他、全国の自治体などに配布。 ※チラシ印刷部数：10,000部
4	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。全国イベントガイド、WAMNET（ワムネット）など計16サイトに掲載。
5	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> ・本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計3回配信。
6	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。
7	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。

実施内容の周知

YouTube 人権チャンネル

人権シンポジウム in 東京の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて、動画を配信した。

<https://www.youtube.com/jinkenchannel>



採録記事

みんなで築こう
人権の世紀

第65回

人権週間

12月4日～10日
12月10日は人権デーです。

考えよう
読もう
語りよりの心

人権に関するご相談は、お近くの法務局へ

みんなの人権110番(112)
0570-003-110

子どもの人権110番(113)
0120-007-110

女性の人権ホットライン(114)
0570-070-810

インターネット人権相談受付窓口

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会

【広告】

人権シンポジウムin東京

インターネットと人権

今ネットで何が起きているのか？

LINEが飛ぶ親子の在り方

ネットの人権侵害の現状と課題

ネット・リテラシーと想像力

子どもとふれあひ、向き合うことが大切

インターネットが自分の人生を豊かにした

YOMIURI ONLINE (読売新聞)にて採録記事が掲載された。

読売新聞・朝刊において、人権週間等の
広報記事とともに、人権シンポジウムin東
京の採録記事が掲載された。
【掲載日】
全国共通：平成25年11月30日（土）

人権シンポジウムin東京

インターネットと人権

今、ネットで何が起きているのか？

LINEが飛ぶ親子の在り方

ネットの人権侵害の現状と課題

ネット・リテラシーと想像力

子どもとふれあひ、向き合うことが大切

インターネットが自分の人生を豊かにした

震災と人権

一人一人の尊厳を大切に

採録記事・新聞広告の効果測定結果

読売新聞の採録掲載については、広告の効果を把握するため、首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）、近畿圏（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）、北海道、中京圏（愛知・岐阜・三重）、福岡県に居住し、読売新聞を定期購読する15～69歳の男女個人を対象にパソコンを利用したウェブ調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおりである。

■接触度は、71.4%

※「確かに読んだ（見た）」又は「読んだ（見た）ような気がする」と回答

■理解度は86.9%

※設問「広告（記事部分を含む）が理解できた」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■関心度は66.6%

※設問「広告（記事部分を含む）に興味を持った」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■好感度は69.1%

※設問「広告（記事部分を含む）に好感を持った」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■「人権シンポジウムin東京」の記事内容についての理解度は53.6%

■「12月4日～10日は『人権週間』であること」についての理解度は75.8%

■「相談窓口やサイトなど」の認知度は「いずれもこの広告を見て初めて知った」が56.1%。

■人権イメージキャラクター「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」の認知度は32.2%

※「具体的なキャラクター名まで知っていた」又は「見たことはあったが、具体的なキャラクター名について初めて知った」と回答

■人権シンポジウムへの参加経験者は1.5%

■人権シンポジウムへの参加意向者は67.1%。うち、参加意向の条件は、「自宅近くの開催なら参加したい」が37.7%、「興味のあるテーマなら参加したい」が31.9%、「一人ではなく、友人、家族、会社の同僚等と一緒に参加したい」が13.0%

■「広告閲覧後の人権問題に対する関心・理解度」は85.5%

■設問「広告閲覧後、人権について何か行動をしようと思ったか」について、「人権に関する意識を深めたい」が75.8%、「人権に関するイベントに機会があれば参加したい」が52.7%

■「新聞広告の継続」について、「継続すべき」が91.5%

※「積極的に行くべき」又は「時々行くべき」と回答